

Title	日本語・日本文化 第32号 奥付
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化. 2006, 32
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/21043">https://hdl.handle.net/11094/21043</a>
rights	本文データはCiNiiから複製したものである
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

---

## 執筆者紹介 (掲載順)

---

五之治昌比呂	本センター専任講師
仲本 康一郎	本センター非常勤講師
岩男 考哲	本センター非常勤講師

---

## 編集後記

---

本センターでは、目的・性格が異なる様々な教育プログラムが動いており、全体としての評価が難しいため、昨年度から、年度ごとに設定した教育分野について、外部評価を受けることとなった。今年2月末には、国費学部留学生大学入学前予備教育を対象として5人の識者による評価が実施され、近々その内容が報告書として公刊される予定である。今年度の評価対象は国費日本語・日本文化研修留学生の教育とすることがすでに決定しており、この2、3年は準備等で担当教員にとっては気が休まらない日々が続くそうであるが、本学と大阪大学との統合協議が進展するなか、一大学の枠の中に収まりきれない本センターの機能というものに理解を得るためにも必要な事業と言えよう。

さて、今号(32号)では、明治期に英訳本から重訳されたローマ時代の喜劇『メナエクス兄弟』(邦題『『雙児の邂逅』])に焦点をあて、原典との比較を交えながら、その邦訳の意義と特徴について考察した五之治論文を巻頭とする3点の論稿が掲載できた。前号前々号に比して、論文数が減少したことは残念であるが、機関研究誌としての質的な向上をまずは念頭に置いて誌面を形作っていただくと考えている。

(H.K)

---

## 『日本語・日本文化』投稿規定

---

1. 資格：本センター所属教員（非常勤を含む）及び『日本語・日本文化』編集委員会において適当と認められた者。
  2. 内容：日本語・日本文化等に関する未発表の研究論文・研究ノート・研究報告等。
  3. 体裁：研究論文は400字詰原稿用紙50枚前後（欧文はA4ダブルスペース30枚前後）、研究ノート・研究報告は25枚前後（欧文は15枚前後）。
  4. 要旨：本文和文の場合、欧文による要旨（A4ダブルスペース1枚）を、欧文の場合は、和文による要旨（800字程度）を添付。
  5. 採否：原稿の採否は『日本語・日本文化』編集委員会が決定。
- 

## 編集委員

---

加藤 均 生森将人\* 佐野方郁

\*定年退職のため任期は2006年3月31日まで。

## 日本語・日本文化 第32号

2006年5月30日 発行

編集 大阪外国語大学  
発行 日本語日本文化教育センター  
〒562-8558  
箕面市粟生間谷東8-1-1  
電話 (072)730-5459  
FAX (072)730-5074

印刷 中西印刷株式会社